

研究実施のお知らせ

2018年4月23日 ver.1.2

研究課題名

甲状腺癌における骨粗鬆症の頻度と原因についての検討(後向き)

研究の対象となる方

2010年4月から2019年3月の間に島根大学医学部附属病院で甲状腺癌と診断され、放射性ヨウ素内用療法の治療を受けられた方

研究の目的・意義

甲状腺癌患者さんのうち、分化型甲状腺癌（乳頭癌、濾胞癌）と診断された方の中にどの程度の頻度で骨粗鬆症の方がいらっしゃるかについて検討します。分化型甲状腺癌の方は、術後に甲状腺を刺激する TSH を抑制する治療の対象となる方が多くおられます。TSH 抑制療法は癌の再発や転移には予防的に作用しますが、骨粗鬆症を進行させる可能性があります。このため、TSH 抑制療法を受けていただく患者さんの中に、もともとどのくらいの頻度で骨粗鬆症が存在するかを検討することで、必要に応じ骨訴訟症や骨折の予防治療を行うことができます。

研究の方法

過去のカルテ記載を確認して、以下の項目を集積させていただきます。

診療録より：

身長、体重、喫煙歴、飲酒歴、閉経年齢、骨折歴、ご両親の骨折の有無

血液・尿検査結果より：

Alb、ALP、Ca、リン、Cr、HbA1c、Intact PTH、LDL-C、中性脂肪、HDL-C

甲状腺関連指標：術前の甲状腺ホルモン(Free T3、Free T4、TSH)、腫瘍サイズ、手術時点での癌のステージ(リンパ節転移の有無、遠隔転移の有無)、抗体価(Tg抗体、TPO 抗体)

骨代謝マーカー（測定された方のみ）：BAP、尿中 NTx、TRACP-5b

骨密度検査結果

胸腹部 X 線検査結果

個人情報に関しては、本研究のみを目的に使用します。解析、公表の際にも個人が同定できないようにカルテより情報を集積します。

研究の期間

2018年4月～2020年3月

研究組織

この研究は島根大学医学部内科学講座内科学第一が行います。

研究代表者（研究で利用する情報の管理責任者）：

島根大学医学部内科学講座内科学第一 野津 雅和

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部内科学講座内科学第一 野津 雅和

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2183 FAX 0853-23-8650